

平成 23 年度「練馬区協働事業提案制度」実施事業の総合評価結果

事業名	親子ひろば「LOVE ピース club」
事業実施団体	特定非営利活動法人 保育サービスぽてと
区の事業関係課	健康部光が丘保健相談所

(練馬区区民協働推進会議の評価)

育児や子どもの発達に不安を持つ親子を支援するという、難しい課題に対する取り組みでした。しかし、周知が徹底でき利用者の人数が大幅に増えたことや、利用者が保育園や療育施設とつながった事例があること、アンケートの結果が好評なことなどから、期待以上の成果を確認することができました。また、事業実施団体と区の事業関係課が、協働事業であることを意識して取り組んでおり、お互いの信頼関係が築かれていました。

今年度も、引き続き協働事業として実施している事業です。より一層、信頼と協力関係を深めるとともに、地域に浸透した事業展開ができることを期待しています。

なお、さらなる事業の充実に向け、発達障害に取り組むNPO法人などとの連携についても、検討してください。

事業名	外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流会事業
事業実施団体	Net!練馬国際振興協会
区の事業関係課	総務部文化国際課（平成24年度 地域文化部地域振興課）

（練馬区区民協働推進会議の評価）

外国人区民と日本人区民とが、お互いの文化や習慣の違いを認め合い、多文化共生のまちづくりへの意識を育むため、講座や交流会など開催するという取り組みでした。各種の講座、交流会については、事業実施団体の機動性やネットワーク、これまでの経験を活かして、様々な切り口から事業が展開されていました。特に、本事業は、外国人区民の参加者をどのように集めるかが課題でした。そうした中で、日本の伝統文化である「能」や「茶道」の事業を実施し、多くの外国人区民の参加が得られたことは、事業の成果につながるとともに、事業展開を考えるうえでの大きな収穫と言えます。

一方、1年間という短い期間で、様々な切り口で事業を実施した結果、事業の目的や成果が分かりにくい面もあり、事業計画の段階での更なる検討の必要性を感じました。

今年度も、引き続き協働事業として実施している事業であるため、区の事業関係課の関わりを強め、より充実した事業展開を期待しています。

事業名	認知症介護家族による介護の悩み相談（介護家族によるもの忘れなんでも相談）
事業実施団体	練馬認知症支援ネットワークの会
区の事業関係課	福祉部高齢社会対策課

（練馬区区民協働推進会議の評価）

認知症介護を経験した人が介護家族からの相談に応じ、介護家族の辛さ、悩みに寄り添うことで、気持ちの整理、負担の軽減を図るという、非常に繊細かつ重要な取り組みでした。また、既に区や専門機関に相談している方を支援するのではなく、相談窓口がわからない方や、とにかく悩みを聞いて欲しい方など、潜在的なニーズに対して取り組む事業でした。

初めての取り組みということもあり、支援が必要な人に対して、どのような手段で事業の周知を行うかが課題であり、大変苦労されていたことが十分伺い知ることができました。また、そうした課題に対して、事業実施団体と区の事業関係課が協働事業であることを意識して取り組むことができていました。

取り組んだ課題や対象者へ情報を伝える難しさもあり、相談件数が伸び悩み、苦労と熱意が事業の成果に十分つながらなかったことは残念でしたが、1年間の取り組みを通じて体制を整備し、信頼関係を築かれたこと、その結果として平成24年度から、区の事業関係課の委託事業になったことは、協働事業提案制度が上手く機能した結果だと思えます。

今後は、より事業の効果を高めるため、公的な取り組みであることを十分周知しながら、必要な人に情報を届けるとともに、相談を喚起するようなシンポジウムなどの事業も検討してください。

事業名	防災協定締結自治体との住民同士の連携・交流事業
事業実施団体	光が丘地区住民組織連合協議会
区の事業関係課	危機管理室震災対策担当課（平成 24 年度 防災課）

（練馬区区民協働推進会議の評価）

練馬区の住民と他自治体の住民が顔の見える関係を築き、災害時にはお互いが助け合う関係を育むという新鮮な取り組みでした。事業実施団体と区の事業関係課が協議をしながら、相手方の都合を勘案しつつ、相手方の実情に応じた事業を実施することができたことが、結果として顔の見える関係を築くという成果につながったと思います。

一方、相手方の都合に合わせて、当初予定をしていた取り組みの一部を縮小し、予算が余る結果となりました。予算の使途を修正し、こうした取り組みを紹介するためのパンフレットなどを作成するなどの工夫があれば、更に充実した取り組みにつながったと思います。

単発な連携・交流で終わらず、引き続き交流を続け、絆を育むことを期待するとともに、他の町会・自治会へも積極的に情報の発信をしていただくことを期待しています。

事業名	防災の普及・啓発につながるパンフレットの作成
事業実施団体	大泉北泉町会
区の事業関係課	危機管理室防災課

(練馬区区民協働推進会議の評価)

区民の方の防災意識の向上を図るため、町会会員以外へも呼びかけた防災訓練を実施するとともに、防災訓練の活性化につながるパンフレットを作成するという、町会の特性を活かした取り組みでした。

防災訓練においては、役員の方が一致団結をして「こども縁日」や「凧揚げ」など、人を集める工夫を凝らした結果、幅広い年代から多くの参加者を得られました。こうしたことは、防災意識の向上と災害時における「共助」につながるものであり、区の事業関係課と連携・協力して実施した成果だと思えます。

また、防災訓練のパンフレットについては、「工夫のポイント」「地域へのお知らせ方法」など、他の防災組織の参考となる部分が上手くまとめられていました。

一方、協働事業であることを踏まえると、例えば、区が持っている情報を活かして区民目線で作成したり、地域資源や防災課などを活用するノウハウを掲載したりするなど、もう少し区の事業関係課が積極的に関わることで、より充実した啓発パンフレットになったと思えます。

今後は、地域の人材や資源を更に活かした防災訓練の充実と、防災訓練を通じての地域での人と人とのつながりが深まることを期待しています。

事業名	子育て支援スタッフ等の研修
事業実施団体	特定非営利活動法人 あそびっこネットワーク
区の事業関係課	練馬子ども家庭支援センター

(練馬区区民協働推進会議の評価)

子育て支援に関わるスタッフや子育て中の保護者に対して感覚統合に関する講座を実施し、感覚統合の視点を子育てに活かすことで、育児に対するストレスの軽減を図るという、事業実施団体の専門性が発揮された取り組みでした。事業の実施方法について、事業実施団体と区の事業関係課とが協議のうえ、当初予定をしていた会場や時間を指定して受講者に集まってもらう講座から、受講者の都合に配慮した出前講座に変更し、その結果、多くの参加者が得られたことは、協働事業としての良さが表れた部分でした。

また、受講者からのアンケート結果も好評であり、ワークショップなどを取り入れながら、充実した講座を実施した成果だと思えます。

ただし、事業の進捗状況や進め方などで、もう少し区の事業関係課が積極的に関わり、情報交換などを行い、区民のニーズなどをお互いが把握しながら、事業を進めることができれば、一層の地域への広がりが期待でき、また、相互理解なども深まり、協働の効果を高めることができたと思えます。

事業実施団体と区の事業関係課は、本事業以外に、子育てのひろばやプレーパーク事業を協働で実施していますので、情報共有や相互理解を意識した取り組みを期待しています。

事業名	ねりま子育て情報誌 2012 の発行
事業実施団体	ねりま子育てネットワーク
区の事業関係課	練馬子ども家庭支援センター

(練馬区区民協働推進会議の評価)

子育て中のママが、子育て世代の視点を大切に、企画・取材・編集をした情報誌を作成し、同世代の親子を応援するという、目的と成果が明確な取り組みであり、協働を進めるうえで、分かりやすい事業例でした。

事業実施団体が民間の助成金を獲得したことにより、当初の予定よりページ数や発行部数が飛躍的に増え、期待以上に充実した内容の情報誌ができました。

また、区の事業関係課も、作成する側の意図が活かされるよう取り組んでおり、協働事業としての相互理解、目的の共有ができていました。

更に、事業実施団体が公募で作成に携わる方を募集し、参加した皆さん全員が最後までやり遂げたことは、区民の自己実現の「場」や「きっかけ」を提供したことにもなり、協働事業の効果を高める結果となりました。

今後は、より多くの方に情報が届けられるよう、継続的にパソコンやスマートフォンでの閲覧に対する環境整備に努めていただくとともに、作成に携わった方の一層のご活躍を期待しています。

事業名	高齢者への配食サービスと困りごとの聞き取りおよび助け合いのネットワークづくり
事業実施団体	特定非営利活動法人 楽膳倶楽部
区の事業関係課	福祉部光が丘総合福祉事務所

(練馬区区民協働推進会議の評価)

様々な理由で外出することが難しい高齢者へ温かいお弁当を届けるとともに、コミュニケーションを図りながら、ちょっとした困りごとに対応するという、事業実施団体の専門性、地域性、先駆性を活かした取り組みでした。

民間事業者の配食サービスの充実、人付き合いの希薄化など、厳しい状況の中での初めての試みでしたが、高齢者相談センターの紹介や口コミなどで、地道に利用者を増やし、コミュニケーションを図りながら、信頼関係を築くことで、困りごとへの対応も行われていることが確認できました。地域ニーズの掘り起こしと、地域の中での支え合いの関係が築かれはじめてきた結果だと思えます。

ただし、協働事業という観点から、区の事業関係課の役割の中で、もう少し積極的に関わり、地域のニーズを相互に共有しながら、事業を進めることができれば、更に効果が高くなったように思います。

今後は、引き続き区や関係機関と連携を図りながら、事業の継続性の観点から、コミュニティビジネスの視点も取り入れつつ、民間事業者との違いを大切にして、事業に取り組むことを期待しています。